

「海上清掃事業」

清掃船により港内に浮遊する塵芥、漂流物その他の収集処分等を行いました。

1. 作業区域 横浜港港湾区域

2. 作業体制

(1) 清掃船 横浜市港湾局より使用貸借している船舶3隻（青海丸・清浦丸・蒼海丸）

浅狭水域用備船2隻（清港丸・清栄丸）

3. 作業内容

(1) 横浜港港湾区域内の海面に浮遊する塵芥、漂流物等を回収し、陸揚げ処分を行いました。

(2) 美観重点水域と定めているみなとみらい21地区周辺から山下公園前までの水域は、荒天等作業不能な日を除き、日曜・祝日等の休日も、海面清掃作業を行いました。

(3) 回収した塵芥は、水切りの後、可燃物は横浜市焼却工場に搬入し、また不燃物等は産業廃棄物処分業者に委託するなど適正に処分しました。

(4) 海上保安部等から塵芥回収依頼を受けた時は、迅速な対応を心掛け実施しました。

4. 回収ごみの種類

流木、枯草木、発泡スチロール、プラスチック製品、ビニール袋、タイヤ等。

5. 作業実績

(1) 直営等清掃船（5隻）によるもの 別表1参照

(2) 国土交通省関東地方整備局清掃船「べいくりん」の回収物の陸揚げ作業
処理回数2回（前年度5回） 陸揚数量4.81W/T（前年度9.18W/T）

6. 流出油回収訓練

油流出事故に迅速かつ適切に対応できるよう、横浜市港湾局指導のもと、回収装置を清掃船へ搭載する訓練を実施しました。（令和3年11月29日、30日）

「陸上清掃事業」

各ふ頭構内の塵芥収集、分別作業等を行いました。

1. 作業区域 大黒ふ頭、出田町ふ頭、瑞穂ふ頭、山内ふ頭、新港ふ頭、
大さん橋ふ頭、本牧ふ頭の構内

2. 作業体制

- (1) 委託作業 塵芥収集運搬作業
(2) 直営作業 再資源化、減量化を図るための塵芥仕分け作業等
(3) ごみコンテナの配置状況及び保有車両等

ア ごみコンテナ（容量0.7 m³/個）

大黒ふ頭他	83個	（公共区域67個、専用区域16個）
本牧ふ頭	236個	（公共区域136個、専用区域100個）
保 管	スチール製ごみコンテナ	7個
	プラスチック製ごみコンテナ	2個

イ 車 両 等

・ 巡回車両（軽自動車）	1台
・ アームロールコンテナ	4台

3. 作業内容

ふ頭構内に配置しているごみコンテナに投入された廃棄物の収集処分を行いました。処分に当たっては分別を行い、再資源化と減量化に努め適正に処分しました。

4. 作業実績 別表2参照

「ギャベジ収集事業」

1. ギャベジ収集事業を作業委託会社と各船社の協力を得て実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により外航客船の運航が停止状態となっていることから、収集隻数、収集量ともに例年より少ない水準に止まっています。

ギャベジ収集実績

収集隻数	23隻	（前年度 15隻）
収 集 量	19,420 kg	（前年度 41,650 kg）

「その他」

1. 啓発宣伝活動等

海面清掃等に従事する清掃船に、常時「みんなで港を美しく」と染めたのぼり旗を掲げ啓発宣伝活動を行っています。横浜港で開催される催しには積極的に参加し、横浜港の海域環境の保全と航行安全の保持をアピールしています。

令和3年度に行った主な活動は次の通りです。

- (1) 国際協力機構（JICA）横浜センター実施の研修「海洋ごみ対策のための廃棄物管理」に資料提供（令和3年5月）
- (2) 東京湾クリーンアップ大作戦啓発用ポスターを関係団体等に配布（令和3年7月）
- (3) ホライゾン学園（横浜）清掃船見学会（令和3年12月）

※例年行われる下記の催し等は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止となりました。

- ・横浜開港祭 官公庁艇パレード（6月）
- ・横浜スパークリングトワイライト 海上シップパレード（7月）
- ・山下公園 海底清掃大作戦（10月）
- ・本牧ふ頭のボランティア清掃（5月、12月）

2. ホームページの活用

ホームページにて、当会の事業内容や清掃活動等の情報公開をしています。

「新着情報」にイベント参加の様子等を随時更新しています。写真や動画を使い、事業内容や清掃活動をより分かりやすく説明しています。

(URL : <http://www.yh-seikokai.or.jp>)

「会 議」

- | | | |
|------|---|-------------------------|
| 1. 総 | 会 | 令和3年6月24日（木） |
| 2. 理 | 事 | 令和3年6月7日（月）、令和3年7月1日（木） |
| | 会 | 令和4年2月25日（金） |
| 3. 監 | 査 | 令和3年5月20日（木） |